

# That's 市民力

今、なぜ協働か??考えるきっかけづくりを...

H25. 12月号

発行:市民協働推進室  
〒850-0022 長崎市馬町 21 番地1(市民活動センター内)  
TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925  
市民力ネット <http://www.city.nagasaki.lg.jp/shiminkyoudo/>



## 市民協働強化研修を開催!!

11月13日(水)、市民活動団体を対象とした市民協働強化研修を開始しました

講師は、IHOE(人と組織と地球のための国際研究所)代表の

川北秀人氏。

研修前半では、長崎市の人口や財政状況などの多くのデータを示しながら、本市の現状、想定される将来の状況について説明がありました。データを基に、客観的に考えることで、本市の状況が、5年、10年で大きく変化しようとしている今、地域の課題やニーズも多様化してきており、市民活動団体の活躍の場が増えつつあるということが分かりました。

今後、“協働事業”を提案するにあたっては、統計などのデータを分析し、地域の課題・ニーズを正確に把握すること、「団体ができること」と「地域が必要としていること」をかみ合わせていくことが大切と感じました。

研修後半は、ワークを行い、参加団体の「こんなことができますリスト」づくりを行いました。団体の活動実績、今後の活動予定、市への提案・アピールを整理することで、協働する相手に自分たちの団体を知ってもらうためのポイントなどが分かってきたようでした。出来上がったリストは、14日(木)、15日(金)に市職員を対象に行った研修の際に掲示したことで、行政側が“協働の種”を見つけるきっかけになったようです。

この研修をきっかけに、行政との協働、企業との協働、団体同士の協働、そして地域が一体となって取り組む「総働」へと広がっていくことに期待したいです。



## 協働

## 団塊シニア世代 セカンドデビュー応援事業

このコーナーでは、さまざまな協働のパターンの中から、主に市民活動団体と長崎市との協働の事例について紹介します。

### 市民協働推進室

- ・情報誌の企画
- ・行政情報の収集
- ・情報誌の配付、広報PR

### (特非)新現役の会長崎センター

- ・情報誌の企画
- ・取材、誌面の作成、発行
- ・モニタリング、アンケート

### 協働

- ・情報誌「ながさきダンカーズ」の発行
- ・団塊世代のニーズや情報の集約
- ・団塊世代の知識や経験を発揮する機会づくり(セカンドデビュー)

現在、団塊シニア世代と言われる50~69歳の長崎市内の人口は約128,000人。この中には、地域との関わりを持たず、時間の活用を見いだせない方が多いのが現状です。戦後の高度経済成長を支えた世代の豊富な経験や知識が活かされないのは、まさに“もったいない!”

こうしたことから、平成23~24年度の長崎市提案型協働事業として「団塊シニア世代セカンドデビュー応援事業」を行い、(特非)新現役の会長崎センターと市民協働推進室が協働で情報誌「ながさきダンカーズ」を発行したところ、多くの市民の方から反響があり、平成25年度は、市の委託事業として、継続して発行しています。

情報誌の企画は、両者が一緒に行っており、(特非)新現役の会長崎センターが取材、誌面の作成・発行、モニタリング、読者アンケートを、市民協働推進室が行政情報の収集、情報誌の配付、広報PRをと、お互いに役割分担をして事業を進めています。

団塊の世代向けの情報誌を発行していくなかで、団体のメンバーが持っている豊富な知識や経験がおおいに発揮されており、行政だけではつかみきれない団塊世代のニーズや情報を収集することができたり、取材を通して団塊世代の人的ネットワークが構築されてくるなど、協働の効果があらわれてきています。



H25.  
12月号

# That's 市民力

伝習所

自分新化講座  
「日本『再創造』」

市民力

ちゃんぼんミーティング  
わたしたちができる『お・も・て・な・し』



11月20日(水)、(株)三菱総合研究所理事長、プラチナ構想ネットワーク会長の小宮山宏氏を講師に迎え、第3回自分新化講座を開催しました。

講演では、産業革命以後の世界の現状、課題先進国としての日本の軌跡、そして21世紀のビジョン「プラチナ社会」などについて、熱心に語っていただきました。

有限の地球の中で文明が進展した結果、先進国では一般市民が「衣食住・移動・情報・長寿」を手にし、21世紀前半には世界中に行き渡るだろうと話し、「量が満たされたあと、次に求められるのはクオリティ(質)の向上」であるとの見解を示しました。

また、それを実現する社会を“プラチナ社会”と定義し、「人と共生する自然の創生」「エネルギー・資源の自給」「健康と自立産業の創生」などの必要条件を示しました。

最後に、「求めるクオリティはそれぞれ違う。だからこそ、地域・市民の力・やる気が必要。そして、知識を構造化し、共有していくことが重要」と強調し、講演を締めくくりました。

11月21日(火)、第6回ちゃんぼんミーティングを開催しました。

今回は「おもてなし」をキーワードに、地域活動・ボランティア・食などの分野で活動している13人が集まりました。

長崎を訪れる人にとって、思いもよらないこと、いい事件があると、感動して思い出に残るのではないかとの話から、自分たちができることとして、「地域にあるものを活かし自分たちも楽しみながら活動することで、訪れた人にも喜んでもらえるのではないか」「料理人が長崎の食材や料理の歴史などを説明することで、より深みが増すのではないか」「日々の生活の中で、お迎えする心を持って過ごすことがおもてなしにつながるのではないか」などの意見が出されました。

長崎には、美しい景色、歴史、料理など、いいものがたくさんあり、街は宝の山だと思う。“外からの目”と“内からの目”の両方を合わせ、長崎の良さをもっと引き出していくことも大切との意見も出されました。

「おもてなし」と深く考えず、自分たちができることを、自然にできるようになっていけたらいいですね。



## 長崎伝習所 「塾」テーマ募集

長崎伝習所「塾」活動は、「このまちをもっとよくしたい」、「大好きな長崎のために何かやりたい」という思いを形にする研究活動です。あなたが主役のまちづくりを実践してみませんか。



- |      |  |
|------|--|
| 対象   | 新たなテーマで開塾を希望するかた   |
| 活動期間 | 平成26年5月(予定)～平成27年3月  |
| 申込方法 | 市民協働推進室(馬町21-1)、市役所本館案内所、行政センター、支所にある申込用紙に必要事項を書いて提出。<br>※申込用紙はホームページでも入手可 |
| 期限   | 平成26年1月14日(火)必着  |
| 選考方法 | 公開審査会により決定<br>(結果は、後日郵送通知)   |

## もってこい 市民力

### ■ ケーブルテレビ放映情報 ■

1月は、「市民後見人候補者養成及び成年後見制度普及事業」を紹介します。

長崎ケーブルメディア

デジタル111chで

好評放送中!

★毎月第2・第4金曜日

★午後5時(初回)・7時・9時・11時

YouTubeでもご覧いただけます!

<http://www.youtube.com/user/shiminryoku>

